

記入例

※新築、増築、テナントの入れ替わりやレイアウト変更の際に必要な届出書です  
 ※届出書は2部（正本、副本）作成し、使用開始予定の7日前までに届出して下さい。

様式第3号(第9条関係)

(表)  
 防火対象物使用開始届出書

届出日を記入

河内長野市消防長 様		年 月 日		印	
所有者や占有者（賃借人）等、その事業所を使用する者の住所、氏名、電話番号を記入し押印して下さい。 なお、法人の場合は法人名、役職、氏名、代表印として下さい。			届出者 住所 氏名		番
所在地			事業所の所在地（住居表示）及び電話番号		電話 番
名称		事業所の名称		主要用途	事業所の使用用途 例：物品販売店、事務所
建築確認年月日		確認申請を要する場合は記入して下さい		建築確認番号	確認申請を要する場合は記入して下さい
※消防同意年月日		記入しないで下さい		※消防同意番号	記入しないで下さい
工事着手年月日	工事を始める日付を記入して下さい。	工事完了（予定）年月日	工事終了予定日を記入して下さい。	使用開始（予定）年月日	使用開始予定日を記入して下さい。
他の法令による許可		消防法以外の法令で許認可を受けている場合のみ記入して下さい。 例：障害者自立支援法第○条の許可			
敷地面積	〇〇㎡	建築面積	〇〇㎡	延面積	
従業員数	一日で最も多くなる時の人数を記入して下さい。	公開時間又は従業員時間	店舗は営業時間、事業所は就業時間を記入して下さい。		
屋外消火栓、動力消防ポンプ、消防用水の概要	左記消防用設備等がある場合に記入して下さい。				ビル等の一部にテナント等が入居する場合は占有面積（〇〇㎡）延べ面積〇〇㎡と記入して下さい。 例：（〇〇㎡）〇〇㎡
その他の事項	※確認申請が出ている場合は記入不要です。 例：〇階テナント入居に伴う届出				
※受付欄			※経過欄		
記入しないで下さい。			記入しないで下さい。		

(裏)

防火対象物棟別概要(第号)	用途	建物全体の用途 例：複合建物		構造		鉄筋コンクリート造		
	種別 階別	床面積 m <sup>2</sup>	用途	消防用設備等の概要				特殊消防用設備等の概要
				消火設備	警報設備	避難設備	消火活動上必要な施設	
1階	(50m <sup>2</sup> ) 100m <sup>2</sup>	物品販売店	消火器	自動火災報知設備	誘導灯	連結送水管		
階								
階								
階								
階								
階								
階								
階								
計	100m <sup>2</sup>							

テナント等で一部の場合は、占有面積(〇〇m<sup>2</sup>)階床面積〇〇m<sup>2</sup>  
例：(〇〇m<sup>2</sup>) 〇〇m<sup>2</sup>

各階ごとに設置されている消防用設備等を記入して下さい。

届出に該当している階を記入して下さい

備考

- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 同一敷地内に2以上の棟がある場合には、棟ごとに「防火対象物棟別概要追加書類(様式第4号)」に必要な事項を記入して添付すること。
- 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
- 建築面積及び延面積の欄は、同一敷地内に2以上の棟がある場合には、それぞれの合計を記入すること。
- 消防用設備等の概要欄には、屋外消火栓、動力消防ポンプ及び消防用水以外の消防用設備等の概要を記入すること。
- ※印の欄は、記入しないこと。
- 防火対象物の配置図、各階平面図及び消防用設備等の設計図書(消火器具、避難器具等の配置図を含む。)を添付すること。

付近見取図：事業所を含んだ付近の地図(住宅地図等)  
配置図：敷地の形状及び道路との関係を示し、敷地内建物の配置を真上から見た図面。  
平面図：建物を水平方向に切って真上から見たもので、机や棚等のレイアウト及び消火器等の位置が記入された図面。